

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目	保健体育 保健		単位数	1
対象学年・組	2学年全クラス	教科担任	MA:高野 MB:高野 AA:川端 AB:川端 CA:川端	
教科書 ・ 副教材	最新高等保健体育 最新高等保健体育ノート改訂版			
1. 目標 生涯を通じる健康・高校生の時期から大人に近づき、年齢と共に会うさまざまな健康問題や健康を支える社会の仕組みとその活用の仕方などについて、学習させる。 社会生活と健康・社会の制度や取り組み・活動のあり方も重要になる。社会全体の健康を高めるために環境・食品・労働と健康との関係について、学習する。				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単 元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学 期	4	1. 思春期と健康 2. 性への関心・欲求と性行動	思春期には、生殖器が発達する。	3
	5	3. 妊娠・出産と健康 4. 避妊法と人工妊娠中絶	母体の健康を維持しよう。	3
	6	5. 結婚生活と健康 6. 中高年期と健康	心身の発達が結婚生活の基盤となる。	4
	7	7. 医薬品とその活用 8. 医療サービスとその活用	正しい使い方が医薬品の効果を高める。	2
1学期授業時数計				12
2 学 期	9	9. 保健サービスとその活用 10. さまざまな保健活動や対策	保健行政は健康づくりを支援する。	4
	10	11. 大気汚染と健康 12. 水質汚濁・土壌汚濁と健康	大気を汚染する物質が放出される。	4
	11	13. 環境汚染を防ぐ取り組み	環境汚染の状況は変化している。	3
	12	14. ごみの処理と上下水道の整備	ごみを適切に処理するために。	3
2学期授業時数計				14
3 学 期	1	15. 食品の安全を守る活動	食品の安全は、私たちの健康を左右する。	3
	2	16. 働くことと健康	働き方と共に、健康問題も変わってきた。	4
	3	17. 働く人の健康づくり	働く人の健康を保持増進するために。	2
3学期授業時数計				9
年間授業時数合計				35
3. 評価の観点・方法 ・定期考査の得点で学習の理解度を評価する。 ・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する。 ・1、2学期は学習内容の理解度を7割、授業の取り組みを3割で成績をつける。 ・学年末は1、2学期の成績を踏まえて、総合的に4割以上で単位修得を認める。				